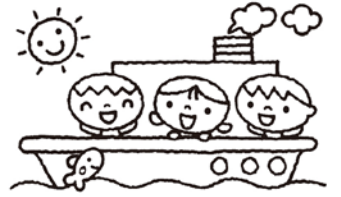




8月の園だより



今月の予定

平成 30年 8月 1日

さかえ保育園

1日(水)	体操教室
2日(木)	包丁練習(ゆり) ピザトースト作り(幼児)
3日(金)	季節の食材紹介(乳児) 枝豆のさや出し(すみれ)
4日(土)	
5日(日)	
6日(月)	どうもろこしの皮むき(ゆり)
7日(火)	誕生会
8日(水)	体操教室
9日(木)	ラップおにぎり作り(幼児)
10日(金)	季節の食材紹介(幼児)
11日(祝日)	山の日
12日(日)	
13日(月)	
14日(火)	
15日(水)	体操教室
16日(木)	
17日(金)	枝豆のさや出し(ゆり)
18日(土)	
19日(日)	
20日(月)	どうもろこしの皮むき(れんげ)
21日(火)	枝豆のさや出し(たんぼぼ)
22日(水)	体操教室
23日(木)	乳児健診・包丁練習(ゆり) ラップおにぎり作り(幼児)
24日(金)	早寝早起き朝ごはんの話 (幼児)
25日(土)	
26日(日)	
27日(月)	
28日(火)	アイスクリーム作り実演 (幼児)
29日(水)	体操教室
30日(木)	箸指導(れんげ) プール終い
31日(金)	ピザトースト作り(幼児)

西日本豪雨災害、迷走する台風12号をうけて雑感。
西日本豪雨での保育園被災リストとそのほんの一部の写真。数十園にのぼる被災リストとその惨状の写真に愕然とした。拝命している東京都民間保育園協会理事会においての報告事項として理事に公表された資料配布された時の感想である。
写真を見て、ここに子ども達がいたらと思うとゾッとする。どんなに大人が命をかけても絶対に守りきれない。登園可能なか休園すべきなのかの判断は、当該施設に判断の最優先順位が与えられるべきだと思う。
また、区市町村行政の発行する入園のしおりなどの案内には保育園は基本「日曜日年末年始」と案内されている休園日に「災害による被害が想定される場合は行政(区市町村)あるいは園の判断で休園する場合があります。」と明記して、入園希望者に事前説明を行う事が絶対に必要だと思う。これによって未然に重大な事象が起きて子どもが受ける被害を最小限にすることができる。
あの被災写真を見て、それでも「保育園は就労支援のために保育を継続すべし」という区市町村行政なら、それはもう子どもも保護者も職員も救いようがない。
ましてや誰かが死んでから対策に動くならアホでもできる。
今のままなら園長ないが腹をくくって自分で判断して責任を取るしか守りようがない。
あの被害を見たら普通ならそう思う。
この判断基準の検討を超具体的に真剣に各区市町村の議会、市担当課、園長会が今この時点で考えなければ絶対誰かが命をなくす。
前例がない?じゃあ誰かが命を失う前例を待つのか? そう思わざるを得ない惨状だった。
認可保育園である以上は、一定の指針に則って運営される。しかしながら私立の保育園はそこにいる運営責任者である園長に災害に関してもすべての責任と権限を持たされる。
それ故にそこに通う子どもの安全、通わせる保護者の安全、勤める全ての保育者の安全のすべてにおいて的確な発信が求められる。その判断発信が人によっては不都合なものだとしても、園長の考える最大最良の判断として受け止めていただきたい。今回の台風12号のようによろこぶる甚大な被害をもたらしながら、地元葛飾では少々肩透かしな天災であったとしても、それはたまたまなのだと思う。緊張し臆病な判断が命を守ると信じている。
園長の雑感です。読み流してください。

— 園 長 —



給食より

<夏バテ予防について>

夏は暑さで体調を崩しがち。規則正しい生活で暑さを乗り切りましょう!!

予防には①こまめな水分補給②バランスの良い食事③暑さと冷えの対策をすることが大切です。

ポイント

- ① 汗をたくさんかくので水やお茶で水分補給しましょう。のどが潤いていなくても、こまめに摂ることが大切です。
- ② 夏場はビタミンB1の消費が激しくなり、不足しがちになります。不足すると、体内に摂取された栄養をエネルギーに変換できなくなり疲労が体内にたまって食欲減退や倦怠感を招きます。ビタミンB1の吸収を良くする香味野菜やたんぱく質の消化を助けるねばねば食材、食欲増進や疲労回復効果のある酸味の食材を取り入れましょう。

ビタミンB1 豚肉、ウナギ、大豆、玄米、ほうれん草、ごまなど

香味野菜 玉葱、長ねぎ、ニラ、にんにく、生姜など

ねばねば食材 納豆、オクラ、山芋、モロヘイヤなど

酸味の食材 レモン、グレープフルーツ、オレンジ、梅干しなど

例えば・・・○豚肉の生姜焼き ○豚ニラポン酢 ○ほうれん草のごま和えなど

- ③ 部屋の冷やし過ぎや、冷たいものの飲み過ぎ、食べ過ぎは身体を冷やしすぎてしまうので注意が必要です。上記のポイントを参考に、夏バテにならない身体作りをしていきましょう!

保健より



<とびひ>

とびひは、夏の疲れが出る8月末~9月頃に多くなります。虫刺されの跡や傷に、菌が付いて発症することが多いようです。「傷がじゅくじゅくしている」「なかなか傷が治らない」というのがとびひの始まりのサイン。やがてかゆみの強い水疱ができます。これをかきこわした手で他の所を搔くと、そこにもとびひが広がります。

<症状>

- ・皮膚に小指の爪位の水疱ができる
- ・水ぶくれや、赤くぐじゅぐじゅした、ただれた状態になる
- ・強いかゆみがある

*症状が出たら早めに受診しましょう!!



☆今月の誕生児☆